

# 令和5年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和5年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果103世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 7名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
I 教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け乳幼児の実態を踏まえた(事業計画における「重点目標」)の設定となっていますか。	○積極的に保護者や地域の意見を取り入れている様子がうかがわれました。 ○園や地域の特色を生かした目標が設定され、それに基づいた具体的な計画が作成されていると思います。	A	当年度の「あおぞらこども園の施設方針、教育・保育目標と実践について」園だよりへの掲載を継続し、保護者へお伝えする機会を設けています。基本的な生活習慣の獲得等を日々の教育・保育活動に反映し、生活や遊びの中には、園の立地や環境を活かした活動を各クラス実践しております。今後も、教育・保育目標を全職員で理解を深めるよう、会議・園内研修に取り組んでまいります。
	目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B	
II 教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」(「今月の保育の進め方」玄関掲示参照)を作成し実践しておりますが、子供達の実態に即した活動が見られていますか。	○掲示板や子供の作品が丁寧に扱われていました。 ○5歳児の実践発表で、全体的な計画に基づき、子供達の実態に即した活動が行われていると思いました。 ○季節を感じられる活動が多く、計画も子供の成長に合わせて行われていると感じた。 ○各年齢に合った遊びや環境が整備されていると思います。	A	子供達の主体性をテーマに取り組んできた園内研修では、公開保育へ参加いただいた有識者より「園内各クラスの環境が園児主役の環境となっている」と、昨年からの変化を評価いただきました。 園児の興味や関心に応じて、安心して好きな遊びが行えるよう、環境構成への学びを積み重ねてまいります。
	各年齢にあった環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮されていますか。		100%	
	教材・教具が、子供達にとって使いやすいように扱われている様子がみられますか。		B	
III 行事について	園全体の行事の種類や実施回数は、参加しやすいように日程など配慮されていますか。(七夕夏祭り、運動会、発表会等)	○平日の保育参加など色々取り組んでおり、参加しやすい方法についてよく考えられている。 ○実施曜日への配慮あり、アンケート内容の公開等分かりやすい。 ○年間行事予定の配布があることで、日々の日程の調整もしやすく配慮されていると思います。 ▲昨今の夏の気温上昇を踏まえた日程の検討についてされていると思いますが。	A	この数年、感染症や天候による影響が多く、これまで通りの行事や保育の計画が進められない状況にある中、保護者からの思いや意見に近づくために、平日開催の「保育参加」を実施しました。 これら園全体で取り組む行事、クラス単位で実施する行事共に保護者の方々や職員からの意見、反省を基に「ねらい」を達成するための計画内容を検討、精査し次年度取り組んでまいります。
	行事のねらい(案内文書に掲載)を計画や実施に十分生かしていますか。		86%	
	保護者の思いや意見を取りいれていますか。		B	
IV クラス経営・保健安全指導・給食について	基本的な生活習慣やマナー・ルールを身につけられるような指導が行われていますか。	○安全面に配慮した環境が整えられていました。 ○保護者への連絡事項や子供の様子などが丁寧に伝えられていました。 ○玄関の掲示は、大きくて見やすく書かれており、保護者の方々にはしっかり伝えられていると思います。 ○安全確保のため、システム化等の話がありましたが、一番大事なことは職員の方々の確認とします。二重チェック、お互いの声かけ等大切にしたいです。 ○食の大切さについて小さな頃から学び、食べる事で覚えられとてもよい環境だと思う。 ○掲示板については、毎年工夫し見やすいよう変化していると思う。 ○掲示板等の掲示には、常に工夫が感じられます。とても見やすいと思います。給食は非常に美味しく、食育への拘りが感じられます。 ○コロナがあけ異年齢交流も増え、子供達も生き生きとした笑顔が見られるようになり、とても良いと思う。 食育は、自宅で中々丁寧にすることができないので、とても有り難いです。 ▲保護者の意見を受けてBにしました。	A	施設アンケートの中でもこの項目に関し多くのご意見を頂きました。以降、利用者への伝達方法を検討し、改善に努めています。保護者の方々にはお忙しい中でのご対応を頂くこととなりますが、これからも子供達や保護者、職員相互にとって良い環境を構築していけるよう進めてまいります。 異年齢交流については、5月にコロナ感染症の区分が変更されたことで、教育時間帯の中で「ねらい」をもって計画されています。日々のデジカメや園だより、HP等を通し子供達の姿をお伝えし、説明責任を果たしてまいります。 今年度は、関係機関から5歳児と職員への防犯訓練を実施しました。今後も安全管理体制、職員の危機意識に関する学びの機会をはかり意識も向上させていけるよう、訓練を継続してまいります。
	同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図られていますか。		86%	
	家庭へのお知らせや掲示物は、時期、内容、分かりやすさ、見やすさ等適切ですか。(園だより、クラスからのお知らせ、保健衛生のお知らせ、掲示物等)		B	
	園生活における、お子さんの健康管理(けがの対応、体調不良を訴えた際の対応も含め)は、適切ですか。		14%	
	子供達や職員は、危機管理に関する訓練(避難訓練・交通安全指導・防犯訓練等)を計画に基づいて適切に実施していますか。		C	
	給食は、子供達が楽しむ工夫がされ、おいしく安心して食べる事ができていると感じますか。(保育参加での様子、給食展示、園だよりなどを通し、献立内容や給食便りを発行)		0%	
乳幼児の安全確保のため、家庭地域社会・関係機関等と連携を図っていると感じますか。				

# 令和5年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和5年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果103世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む)  
上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
V 情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適切に取り扱っていますか。 (個人情報保護規定に沿って実施)	○安全への配慮が適切にされている。 ○子供達が扱いやすく、片付けしやすくなっていると思う。	A	園児や保護者に関する個人情報の取り扱いに関して、送迎時の聞き取りや伝え方、場所等細やかな配慮を意識し対応していきます。 子供達の興味や関心に応じて、安心して好きな遊びが行えるように環境作りを実践して参ります。その為にも、引き続き遊具、用具、教材等は、いつも気持ちよく感じられる整備や整理整頓を心掛けてまいります。
	100%			
B				
0%				
C				
0%				
VI 家庭・地域社会との連携について	お子さんの園での様子について、 保育教諭と情報交換は行われていますか。 (送迎時、連絡帳、個人面談、保育参加等)	○園だけでなく、地域との関係も交流を通じて行えており良い。 ○連絡帳の内容は、とても丁寧だと思います。 高学年生との交流はとても喜んでいました。 ○お兄さんお姉さん達との交流は、新鮮で、子供も喜んでいきます。また、地域の交流があることで、社会性も身につけられて良い。 ▲地域の交流はなされていますが、園から地域行事への参加等、取り入れていって欲しいと思います。 ▲保護者の意見を受けてBにしました。	A	今年度は、年間計画に沿い多くの地域の方々との交流を進める事が出来ています。施設の状況によっては(高齢者施設)まだ制限もありますが、多くが子供達を迎え入れて下さり交流できました。特に小学生との交流は、入学を控えた5歳児にとって、小学校への期待が膨らんだようです。 今後は、これまでの交流を継続しながら地域行事の参加の仕方を検討してまいります。また、クラス運営に関する保護者の皆様方との交流は、細やかな配慮と保護者の方々とのコミュニケーションをより図っていくことを意識しながら、対応してまいります。
	86%			
B				
14%				
C				
0%				
	小中学生・高校生(職場体験・インターシップ)との交流をお子さんは喜んでいましたか。 又、年齢的に経験が無い場合、これから是非こうした経験の出来る機会を望まれますか。			

今年度は、コロナ感染症の類型変更等があり、これまでの対策等を考慮しながら子供達の育ちや発達が十分に図られるような経験や体験を実践いたしました。また、昨年度いただいたご意見等を参考にしながら、園内活動や行事においても改善を図ってきましたが、時節的には長期間の酷暑や広域にわたる熊出没による、これまでに無かった様々な活動制限や協議事項も突出した一年であり、今後(来年度以降)の懸案事項であると認識しております。

評価結果としては委員の皆様方からは評価項目全般において、概ね評価をいただいたと感じておりますが、『保護者からの意見へのより細かな対応について』ご意見いただいた事等を考慮し、更に利用者からの理解、共感をしていただけるような具体的な対応に努めてまいります。

今現在、『教育費の無償化対象拡大、こども誰でも通園制度』等、子供達や就学前施設に関わる新たな施策・報道等がなされております。私達は、子供達やその保護者への教育・保育を実践する(している)ことを最優先としながらも、これら報道等へも関心をもち、理解に努めながら職務や業務へ取り組んでいくことが求められているものと考えます。

地域や施設課題を明確にし、その内容を全職員間で共有化を図りながら、継続的な評価・反省を実践していくことで、これからも教育・保育実践の向上を目指してまいります。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾